

定例交流会

2025年5月15日(木)

オンライン 19~20時

事前申込制・参加費無料

インクルーシブなスライド作り

～2024年 障害者差別解消法
改正の施行を踏まえて～



ゴッホのSelf-Portrait(F627)
D型シミュレーション

話題提供

古山 陽一（国際医療福祉大学専任講師/本研究会理事）



障害者差別解消法の改正により、2024年4月から「障がい者への合理的配慮の提供」が民間事業者についても義務化されることになりました。

こうした現状を踏まえ、「看護学」の立場から視覚に障がいを抱えた人はもちろん、高齢者、外国籍の人などが排除されないよう配慮したスライド作りの方法について話題提供させていただきます。誰もが知っておきたい「インクルーシブなスライド作り」に係る知見の共有に向け、共に考えてみませんか？

*話題提供者の話しは、毎回20~30分程を予定しています。その後、参加者との自由な交流を深めていきます。

主催

大阪市立大学共生社会研究会

<https://coexisting1.wixsite.com/academy>

大阪公立大学 人権問題研究センター内（大阪市住吉区杉本3-3-138）

お問い合わせ

大阪市立大学共生社会研究会 定例交流会担当

coexisting.academy@gmail.com



大阪市立大学共生社会研究会

共生社会の創造とNPO

お申込み

2025年5月12日(月)までに、下記のQRコードからお申込みください。
追って、ZoomミーティングIDとパスコードをお知らせいたします。

なお、本研究会のホームページからもお申込みいただけます。



<https://forms.gle/Cg613Lh1dgdyE1F7>

定例交流会（オンライン）

本研究会では、2025年度から奇数月の15日（*土日祝日の場合は25日）、19~20時にオンラインでの定例交流会をはじめました。主として会員相互の交流の場の提供を目的にしておりますが、非会員の方の参加も歓迎いたします。途中入退室自由のアットホームで和やかな集いになりますので、どうぞお気軽にお申込みください。

共生社会研究

共生社会とは、多様な背景をもつ人々が尊厳をもって生きができる公正な社会。それを目指すには、構造的に存在する不平等の可視化や抑圧と搾取に立ち向うトランクナルな社会的連帯のための理論の構築が欠かせません。こうした社会を変革する力を創りだしていくこと——私たちは、このようなものとして「共生社会研究」を捉えています。